

自由民権資料館 2015年度企画展

新発見史料紹介展

入館無料

自由民権資料館では、2013年度に地域にスポットを当てた「小野路村展」を開催しました。

町田市域の中でも小野路は豊富な史料が残る地域といえますが、残念ながら展示できなかった史料も多く、公開は別の機会に譲らなければなりませんでした。また、2年間が経過し、日々の史料整理の中で発見した史料も少なくありません。

そこで今回の企画展では、江戸後期に小野路村の名主を務めた細野家(角屋・現小野路宿里山交流館)の新発見史料を中心に公開し、改めて小野路の魅力をご紹介します。



◀ 官
員
一
覧
鑑

■ 会 期 2月6日(土)～3月21日(月)

■ 休館日 毎週月曜(祝日の場合はその翌日)

■ 観覧時間 9時～16時30分

● 関連イベント ●
【ギャラリートーク】
毎週土曜日 14時～
(30分程度)

問い合わせ 自由民権資料館 ☎734・4508

町田市民文学館ことばらんど 冬の展覧会

観覧無料

やまなかひさし

「児童読物作家・山中恒

一子どもと物語で遊ぶ」展

会 期 1月16日(土)～3月21日(月)

休館日 毎週月曜日(ただし3月21日は開館)
2月12日(金)、3月10日(休)

観覧時間 10:00～17:00



撮影／タカオカ邦彦

児童読物作家・山中恒氏は、『ぼくがぼくであること』、『あばれはっちゃく』、『おれがあいつであいつがおれで』など、子ども向けのエンターテインメント作品を次々と生み出し、読者から絶大な支持を得ています。映画やテレビドラマなど映像化された作品も多く、幅広い年代に親しまれています。1964年から19年間で町田市で過ごし、この間に、戦時下での幼少期の体験をまとめたノンフィクション「ボクラ少国民」シリーズも執筆しました。

本展では、山中氏の創作活動の原点から現在までをたどります。作品に織り込まれた子どもたちへの“ねがい”に触れてみてください。

● 関連イベント ●

◎ 山中氏による講演会

◎ 映画上映会
「あの、夏の日ーとんでろじいちゃん」
山中氏と大林宣彦監督のトーク
ショーもあり！

◎ 石坂啓

関連イベントの詳細は、
町田市ホームページ・
展覧会チラシを見てね。

問い合わせ 市民文学館 ☎739・3420

地域の学び場

「さがまちコンソーシアム」

学ぶことは面白い！

町田市は、相模原市や近隣の大学・NPO等と連携し、「さがまちコンソーシアム」の一員として、地域の魅力向上に向けて学びの場を提供しています。

学生活動報告会 “学生フォーラム” に行ってみよう！



【開催日】2月11日(祝・木)
【場 所】生涯学習センター

町田・相模原において、地域おこし・まちおこしをテーマに活動する学生団体が、日頃の活動やその中で感じていることを発表し、議論を行います。普段見過ごしがちな地域の魅力を再発見し、まちづくりについて考えてみませんか。どなたでもご覧いただけますので、ぜひお立ち寄りください。

“さがまちカレッジ” に参加してみよう！



さがまちカレッジでは、学びの楽しさを伝えるため、身近な話題をテーマとした講座を実施しています。生涯学習センターでは、今後、リラクゼーション講座やこどもフェルト教室などを行う予定です。

チラシや受講申込書は生涯学習センターで配布しています。ぜひご参加ください。

連載

町田市歴史の二コマ

小野路の文芸サークル、可親会

明治40年代頃の小野路には、萬松寺を活動拠点とした可親会という文芸サークルがありました。漢詩や随筆を中心に、鶴川村の情報や国家予算の報告まで、様々な内容を会誌『可親』に掲載し、会員間で回覧して楽しみました。彼らは流行に敏感で、当時目新しい乗り物だった自転車に乗る爽快感や悪戦苦闘する姿を、「自転車初陣」や「自転車狂句乗」にいきいきと綴っています。

角屋(現小野路宿里山交流館)の当主、細野利篤も、漢学の師小島慎斎(守政)らに交じり可親会で活動しています。『可親』の発行所を担った彼は、や

▶ 可親会『可親』

▶ 扁額「無二庵」

がて俳句を愛好するようになり、無二庵石梁と名乗って活動しました。

可親会の会誌『可親』は、文芸文化がより多くの人に親しまれ始めた当時の状況を良く示しています。

連載

遺跡が語る土地の記憶

忠生遺跡B地区(根岸山横穴墓群)

この遺跡は忠生区画整理事業に伴い、1993年の日向根トンネル(根岸町)の工事中に見られました。古墳時代の終末期(7世紀)の横穴墓が、境川の段丘崖中腹で23基確認され、このうち9基が発掘され、残りは緑地内に保存されています。

最大の特徴は人骨や副葬品などがよく保存されていたことです。出土品には鉄製の武器(鏃、一部銀装の大刀)、装身具(金銅製耳環、青色ガラス小玉など)があり、被葬者は地域の有力者一族と思われる、100年近くにわたって形成された遺跡と判明しました。写

真の頭蓋骨は壮年期男性で、足の骨から推定身長165cmと鑑定された町田の古墳時代人です。



6号横穴墓玄室と被葬者の亡骸
(左奥に頭蓋骨が見える)